

八幡志水線沿線にお住まいのみなさまの移動に関する アンケート調査結果（速報版）

1. 調査の概要

表 調査の概要

	戸津	八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松	合計
調査期間	令和6年10月30日(水)～11月9日(土)	令和6年11月1日(金)～11月15日(金)	-
調査方法	調査票への記入・Web		-
調査対象	149世帯	497世帯	646世帯
配布・ 回収方法	自治会を通じた配布・回収	ポスティングによる配布 郵送回収	-
回収数	96世帯 180票	132世帯 204票	228世帯 384票
回収率	64.4% (96世帯/149世帯)	26.6% (132世帯/497世帯)	35.3%

2. 調査票

調査票の配布にあたっては、回収率の向上を目的として1世帯あたり調査票を2枚配布した。また、調査票は八幡志水線の利用者の意見を優先的に把握することを目的として1枚目は世帯主用、2枚目は利用者または世帯で2人目の方用とした。

あわせて、八幡志水線の路線廃止の周知が十分でない可能性があることから、依頼状の裏面を活用して路線廃止に関する情報提供を実施した。

次頁以降に配布した依頼状及び調査票を示す。

(1) 依頼状兼路線廃止周知資料

令和6年10月 八幡市

八幡志水線沿線にお住まいのみなさまの 移動に関するアンケートへのご協力をお願い


市民のみなさまには、日頃から八幡市の市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、京阪バス株式会社より八幡志水線を令和7年(2025年)3月23日に廃止する意向が表明されました。このアンケート調査は、これを受けて路線廃止によって地域公共交通の空白地が生じる地域のみなさまの移動の現状や、地域公共交通へのお考えをお伺いする為に実施するものです。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、下記に記載したご回答にあたっての留意点をご確認のうえ、別紙のアンケートにご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた内容につきましては、集計して活用しますので、回答者の個人が特定されることはありません。また、回答者の情報を目的外に使用することはありません。

◆アンケートのご回答にあたっての留意点◆

- アンケート調査票は、各世帯2票をお渡ししています。
- 調査票①(青色の紙)は世帯主の方がお答えください。
- 調査票②(黄色の紙)は八幡志水線の利用者の方または世帯のどなたかもう一人の方がお答えください。
- 本アンケートはWebでご回答いただくことも可能です。Webでご回答いただく場合、右のQRコードよりご回答ください。→



※利用されている方がお子さんの場合は、保護者の方が代わりにお答えいただいても構いません。

- 裏面に八幡志水線の路線廃止に関する情報を記載していますので、お読みのうえご回答ください。
- ※同居されている方がいらっしゃる場合は、裏面はご一緒にお読みください。

◆調査票の回収について◆
ご回答いただいた調査票は、封筒に入れて
11月9日(土)までに、
お住まいの地域の組頭様または区三役様にお渡しください。
※本依頼状はご家庭でご活用ください。

◆お問合せ先◆
八幡市建設産業部 管理・交通課
TEL: 075-983-5144

八幡志水線の廃止について

京阪バス株式会社より、令和7年(2025年)3月に八幡志水線を廃止する旨の申し入れがありました。八幡市としては、路線廃止によって地域公共交通の空白地が生じることを鑑み、緊急的な対応策を検討中です。

◆八幡志水線廃止までの経緯

令和4年(2022年)12月 : 土休日ダイヤを運休
令和6年(2024年)7月 : 京阪バスより八幡志水線廃止の申し入れ
10月6日 : 朝夕の便を減便
令和7年(2025年)3月23日 : 路線廃止(予定)

◆八幡志水線の概要(令和6年(2024年)10月減便後)

- 運行区間 : 石清水八幡宮駅～小松～西戸津
- 運行本数 : 1日8便(石清水八幡宮駅行) 1日11便(西戸津行)
- 運行事業者 : 京阪バス

◆八幡志水線の利用状況

経年的な利用状況

- 八幡志水線の年間利用者数は、コロナ禍の影響により2019年度から2020年度にかけて大きく落ち込んでいます。コロナ後も利用者数は回復せず、さらに減少傾向となっています。



図 年間利用者数の推移

※第11回八幡市地域公共交通会議資料を加工

1日の利用状況(10月減便前)

1日の利用者数 : 230人
(1便あたり : 5.9人)

- 停留所別の乗降客数をみると、小松の利用者数は1日あたり延べ48人、西戸津は11人となっています。
- 1日に39便の運行の中で5便(約13%)は利用者数が0人となっています。



図 停留所別の乗降客数(令和6年(2024年)9月19日(木))

◆バス運転手の不足

- 労働時間規制の強化(いわゆる「2024年問題」)や運転手の高齢化を背景として、バス運転手の不足が全国的に課題となっています。
- 京阪バスでも運転手の高齢化が進行しており、運転手の平均年齢は50歳を超えています。
- また、高齢の運転手の退職や退職が多くなる一方で、新たな運転手の確保は進んでいません。
- 運転手が足りないために、八幡市内の京阪バスが運行している地域はもちろん、全国各地で路線バスの減便や廃止が相次いでいます。
- このような状況下で、利用の少ない路線を維持することは非常に厳しい状況になっています。

写真 西戸津停留所(上)、八幡志水線の車両(下)▶



図 依頼状兼路線廃止周知資料(左:表面、右:裏面)

(※表面は戸津地区に配布した内容)

(2) 調査票

調査票① 世帯主の方用

八幡志水線沿線にお住まいのみなさまの移動に関するアンケート

◆ あなたご自身のことについてお尋ねします。

質問1 あなたご自身について教えてください。【それぞれ〇は1つ】

①性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない							
②年齢	1. 中学生以下	2. 高校生	3. 18～29歳	4. 30～39歳	5. 40～49歳	6. 50～59歳	7. 60～64歳	8. 65～74歳	9. 75～84歳	10. 85歳以上
③世帯構成	1. 一人暮らし	2. 家族と同居（夫婦のみ）	3. 家族と同居（2以外）	4. その他（_____）						
④居住地	1. 戸津	2. 八幡盛戸	3. 八幡舞台	4. 八幡吉原	5. 八幡小松					
⑤自動車保有状況	1. 世帯で1台保有	2. 世帯で2台以上保有	3. 持っていない							
⑥運転免許	1. 持っている	2. 返納を検討中	3. 返納した	4. 取得していない						

質問2 あなたは、一人でも外出できますか。【〇は1つ】

1. 一人で外出可能	2. やや困難だが杖等があれば一人で外出可能
3. 介助があれば外出可能	4. 介助の有無に関わらず基本的に外出は困難

◆ 京阪バスの八幡志水線についてお尋ねします。

質問3 八幡志水線について、どの程度ご存じか教えてください。【〇は1つ】

1. バスのルートや運行時刻について知っている	2. バスが運行していることは知っている	3. バスが運行していることを知らなかった
-------------------------	----------------------	-----------------------

八幡志水線の減便・廃止について、どの程度ご存じか教えてください。【〇はいくつでも】

1. 令和7年(2025年)3月に廃止になることを知っている	2. 令和6年(2024年)10月に朝夕の便が減便されたことを知っている	3. 令和4年(2022年)12月に上休日が連休になったことを知っている	4. 減便・廃止について知らなかった
--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------

質問4 八幡志水線について、「最近1年」の利用頻度を教えてください。【〇は1つ】

1. 週6～7日	2. 週3～5日	3. 週1～2日	4. 月1～3日	5. 月に1日未満	6. 全く利用なし
----------	----------	----------	----------	-----------	-----------

最後に利用した時期を教えてください。【〇は1つ】

1. 令和2年(2020年)3月以前（コロナ禍以前）	2. 令和4年(2022年)12月以前（上休日ダイヤの連休以前）	3. 令和5年(2023年)9月以前（1年以上前）	4. 一度も利用したことがない
----------------------------	----------------------------------	---------------------------	-----------------

◆ 今後の八幡市の地域公共交通についての考えを教えてください。

質問5 八幡志水線がなくなった場合、あなたの生活はどうなると思いますか。【〇は1つ】

1. 現在、八幡志水線を利用しておらず、特に変わらない
2. 現在、他のバス停まで歩いており、特に変わらない ↳バス停【〇は1つ】(1. 広門 2. おさ田 3. その他 _____)
3. 他のバス停まで歩いて移動する ↳バス停【〇は1つ】(1. 広門 2. おさ田 3. その他 _____)
4. 地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は変わらない） ↳移動手段【〇は1つ】(1. 自家用車 2. 自転車 3. 徒歩 4. その他 _____)
5. 地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は減少する） ↳移動手段【〇は1つ】(1. 自家用車 2. 自転車 3. 徒歩 4. その他 _____)
6. 自力で外出できなくなる

質問6 京阪バス八幡志水線の廃止後、八幡市が代替的な交通手段を導入すべきだと思いますか。【〇は1つ】

1. 代替交通を導入すべき	2. 代替交通を導入すべきでない	3. 分からない
---------------	------------------	----------

質問7 今後の八幡市の地域公共交通を支えていくにあたり、どのようなあり方が望ましいと思いますか。下記をお読みのうえお答えください。【〇は1つ】

八幡市では、路線バスが基幹的な市民の移動を担い、その補完のためコミュニティバスやわたを運行してきました。しかしながら、人口減少、路線バスの更なる減便・廃止などの状況が続けば、今後、現在の市民の移動を支えるための市の負担（令和5年度(2023年度)：約5,200万円）は、これまで以上に増えることが想定されます。

1. 住民一人一人が路線バス・タクシー等を積極的に利用し、地域公共交通を支えていくべき
2. 行政がコミュニティバス等を運行し、地域公共交通を支えていくべき
3. 地域が主体となって移動サービスを運行し、地域公共交通を支えていくべき
4. 分からない

(参考) 八幡市内の他地域の事例：橋本西山地域デマンド交通
橋本地域、西山地域では令和2年(2020年)より、地域が主体となった移動サービスを運行しています。具体的には、地域の住民が、移動の難しい他の住民（主に高齢の方）を自身の自家用車を用いて運ぶ助け合い交通を運行しています。

質問8 路線バス等の地域公共交通を維持するために、あなたはどのような協力ができると思いますか。【〇はいくつでも】

1. 積極的に地域公共交通を利用する	2. 家族や知人に利用を呼びかける
3. 地域や個人で協賛金を支出する	4. バス停の清掃活動などを実施する
5. 地域公共交通に関心を持つ(利用状況や収支状況など)	6. その他（_____）

ご協力ありがとうございました。

図 調査票（1枚目）（左：表面、右：裏面）

調査票② 八幡志水線の利用者の方 または 世帯で2人目の方用（いらっしやる場合）

八幡志水線沿線にお住まいのみなさまの移動に関するアンケート

◆ あなたご自身のことについてお尋ねします。

質問1	あなたご自身について教えてください。【それぞれ〇は1つ】
①性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
②年齢	1. 中学生以下 2. 高校生 3. 18～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳 6. 50～59歳 7. 60～64歳 8. 65～74歳 9. 75～84歳 10. 85歳以上
③世帯構成	1. 一人暮らし 2. 家族と同居（夫婦のみ） 3. 家族と同居（2以外） 4. その他（_____）
④居住地	1. 戸津 2. 八幡盛戸 3. 八幡舞台 4. 八幡吉原 5. 八幡小松
⑤自動車保有状況	1. 世帯で1台保有 2. 世帯で2台以上保有 3. 持っていない
⑥運転免許	1. 持っている 2. 返納を検討中 3. 返納した 4. 取得していない

質問2	あなたは、一人でも外出できますか。【〇は1つ】
1. 一人で外出可能	2. やや困難だが杖等があれば一人で外出可能
3. 介助があれば外出可能	4. 介助の有無に関わらず基本的に外出は困難

◆ 京阪バスの八幡志水線についてお尋ねします。

質問3	八幡志水線について、どの程度ご存じか教えてください。【〇は1つ】	
1. バスのルートや運行時刻について知っている	2. バスが運行していることは知っている	3. バスが運行していることを知らなかった

八幡志水線の減便・廃止について、どの程度ご存じか教えてください。【〇はいくつでも】	1. 令和7年(2025年)3月に廃止になることを知っている 2. 令和6年(2024年)10月に朝夕の便が減便されたことを知っている 3. 令和4年(2022年)12月に上休日が連休になったことを知っている 4. 減便・廃止について知らなかった
---	--

質問4	八幡志水線について、「最近1年」の利用頻度を教えてください。【〇は1つ】
1. 週6～7日 2. 週3～5日 3. 週1～2日 4. 月1～3日 5. 月に1日未満 6. 全く利用なし	

最後に利用した時期を教えてください。【〇は1つ】	1. 令和2年(2020年)3月以前（コロナ禍以前） 2. 令和4年(2022年)12月以前（上休日ダイヤの運休以前） 3. 令和5年(2023年)9月以前（1年以上前） 4. 一度も利用したことがない
--------------------------	--

◆ 今後の八幡市の地域公共交通についての考えを教えてください。

質問5	八幡志水線がなくなった場合、あなたの生活はどうなると思いますか。【〇は1つ】
1. 現在、八幡志水線を利用しておらず、特に変わらない	2. 現在、他のバス停まで歩いており、特に変わらない ↳バス停【〇は1つ】(1. 広門 2. おさ田 3. その他 _____)
3. 他のバス停まで歩いて移動する ↳バス停【〇は1つ】(1. 広門 2. おさ田 3. その他 _____)	4. 地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は変わらない） ↳移動手段【〇は1つ】(1. 自家用車 2. 自転車 3. 徒歩 4. その他 _____)
5. 地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は減少する） ↳移動手段【〇は1つ】(1. 自家用車 2. 自転車 3. 徒歩 4. その他 _____)	6. 自力で外出できなくなる

質問6	京阪バス八幡志水線の廃止後、八幡市が代替的な交通手段を導入すべきだと思いますか。【〇は1つ】	
1. 代替交通を導入すべき	2. 代替交通を導入すべきでない	3. 分からない

質問7	今後の八幡市の地域公共交通を支えていくにあたり、どのようなあり方が望ましいと思いますか。下記をお読みのうえお答えください。【〇は1つ】
-----	---

八幡市では、路線バスが基幹的な市民の移動を担い、その補完のためコミュニティバスやわたを運行してきました。しかしながら、人口減少、路線バスの更なる減便・廃止などの状況が続けば、今後、現在の市民の移動を支えるための市の負担（令和5年度(2023年度)：約5,200万円）は、これまで以上に増えることが想定されます。

1. 住民一人一人が路線バス・タクシー等を積極的に利用し、地域公共交通を支えていくべき
2. 行政がコミュニティバス等を運行し、地域公共交通を支えていくべき
3. 地域が主体となって移動サービスを運行し、地域公共交通を支えていくべき
4. 分からない

（参考）八幡市内の他地域の事例：橋本西山地域デマンド交通
橋本地域、西山地域では令和2年（2020年）より、地域が主体となった移動サービスを運行しています。具体的には、地域の住民が、移動の難しい他の住民（主に高齢の方）を自身の自家用車を用いて運ぶ助け合い交通を運行しています。

質問8	路線バス等の地域公共交通を維持するために、あなたはどのような協力ができると思いますか。【〇はいくつでも】
1. 積極的に地域公共交通を利用する	2. 家族や知人に利用を呼びかける
3. 地域や個人で協賛金を支出する	4. バス停の清掃活動などを実施する
5. 地域公共交通に関心を持つ（利用状況や収支状況など）	6. その他（_____）

ご協力ありがとうございました。

図 調査票（2枚目）（左：表面、右：裏面）

3. アンケート調査結果（速報）

質問 1

① 性別

回答者の性別は両地域合計で男性・女性ともに約5割ずつである。

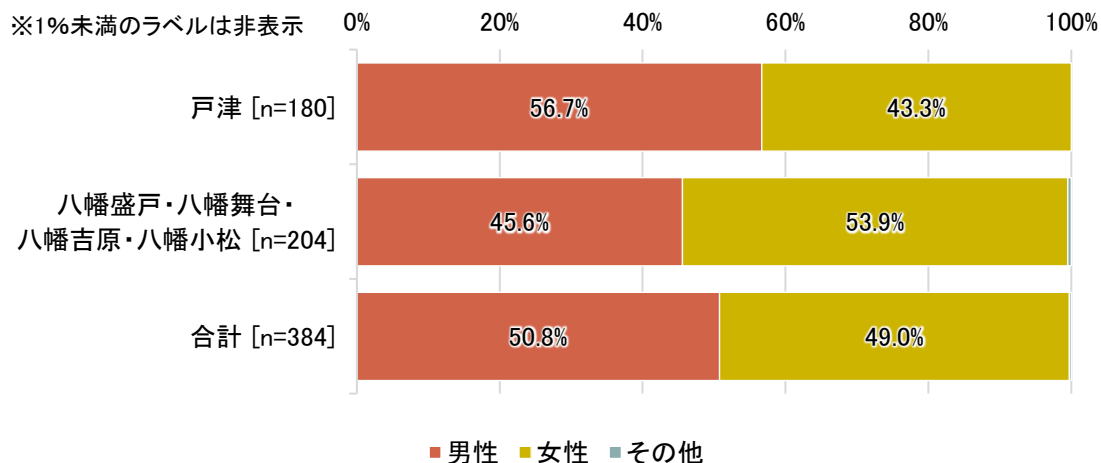


図 性別

② 年齢階層

回答者の年齢階層は65歳以上の高齢者が戸津で約7割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約5割を占める。

戸津は八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松と比較して回答者の年齢階層が高い。

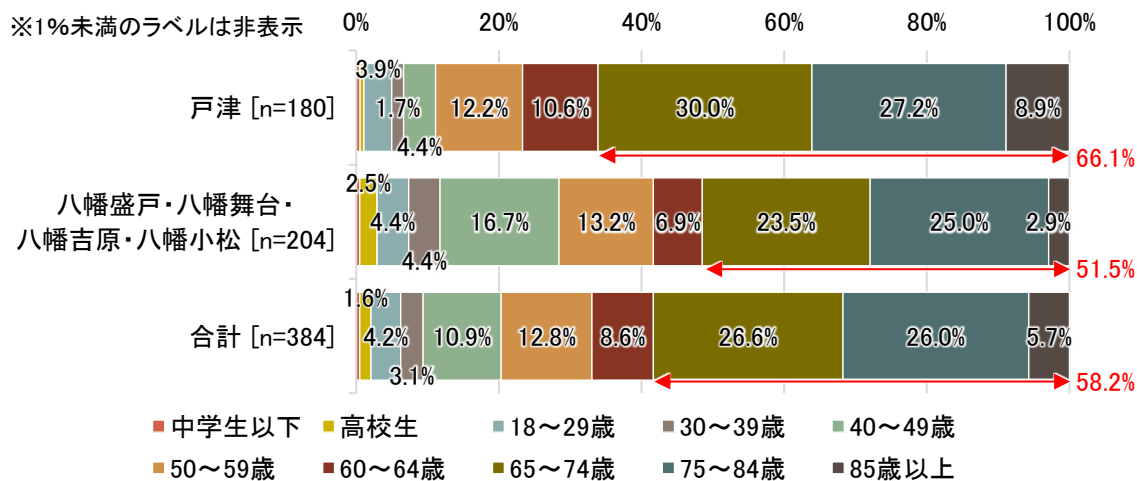


図 年齢階層

③ 世帯構成

回答者の世帯構成は両地域合計で「家族と同居（夫婦のみ以外）」が最も多く約5割を占める。次いで「家族と同居（夫婦のみ）」が多い。

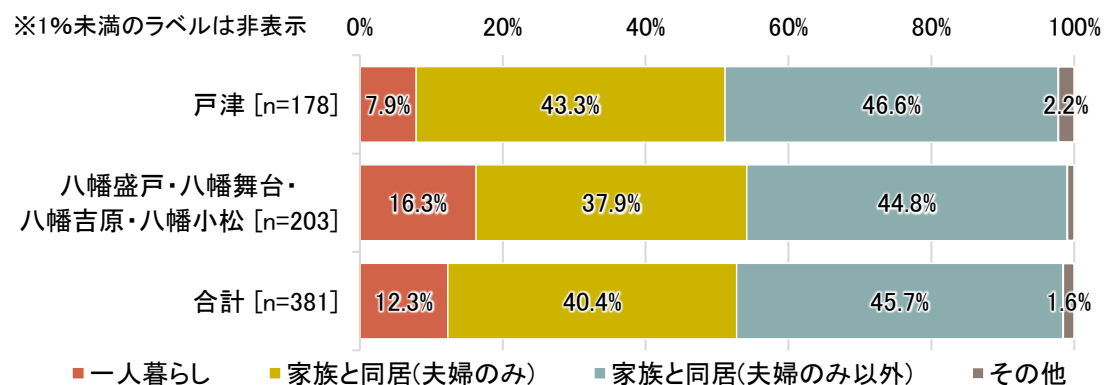


図 世帯構成

④ 居住地

回答者の居住地のうち、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松の内訳をみると、八幡小松（約33%）、八幡舞台（約31%）、八幡盛戸（約25%）、八幡吉原（約12%）の順が多い。

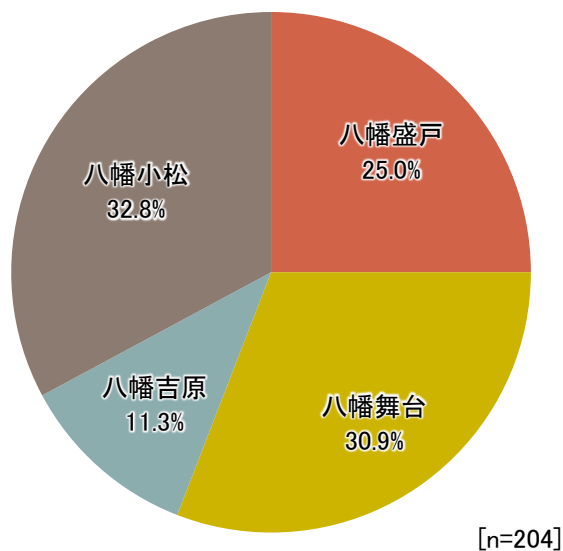


図 居住地（八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松）

⑤ 自家用車保有状況

自家用車保有状況を見ると、戸津では「世帯で2台以上保有」との回答が最も多い。

八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では「世帯で1台保有」との回答が最も多い。また、「持っていない」との回答が約3割を占めている。

戸津は自家用車を1人1台保有している世帯がある一方で、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松は世帯で自家用車を保有しているものの、利用できない時間がある世帯や、自家用車を保有していないため徒歩、自転車、地域公共交通で移動する世帯が多いことが伺える。

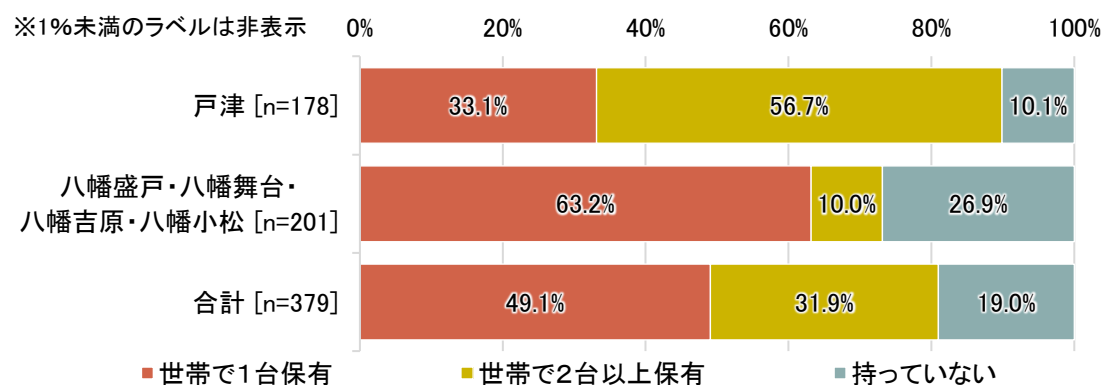


図 自家用車保有状況

⑥ 運転免許

運転免許を持っている割合は戸津で約8割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約5割を占めている。運転免許を返納した、または取得していない割合は八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約4割を占めている。

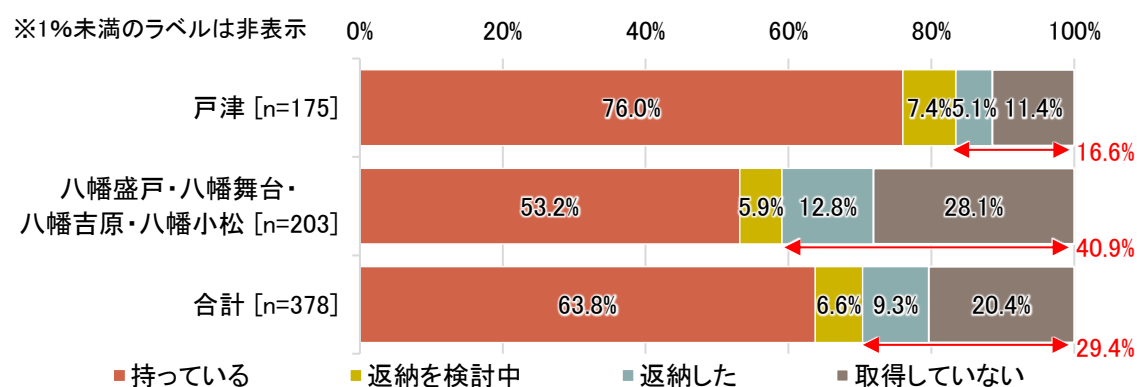


図 運転免許保有状況

質問2 外出困難度

外出困難度は両地域合計で「一人で外出可能」が約9割を占める。

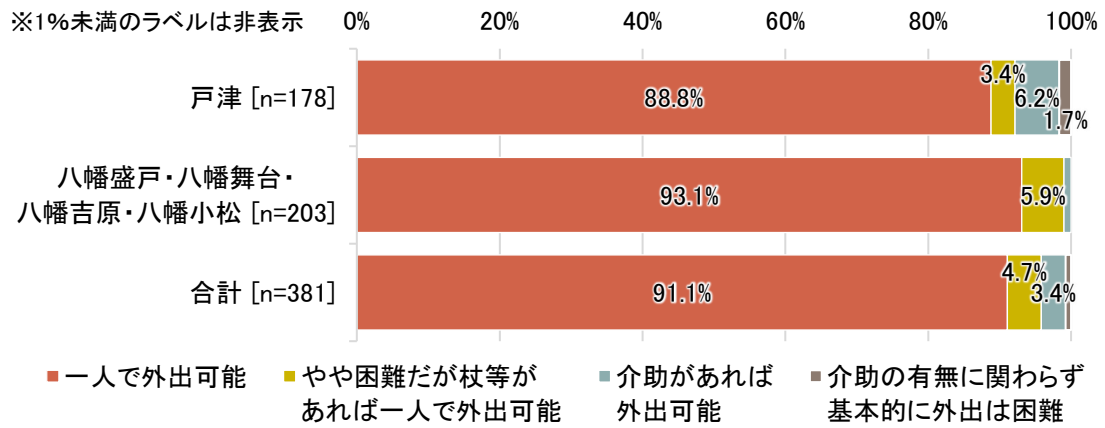


図 外出困難度

質問 3

① 八幡志水線の認知度

八幡志水線の認知度は両地域合計で「バスのルートや運行時刻について知っている」が約7割を占める。

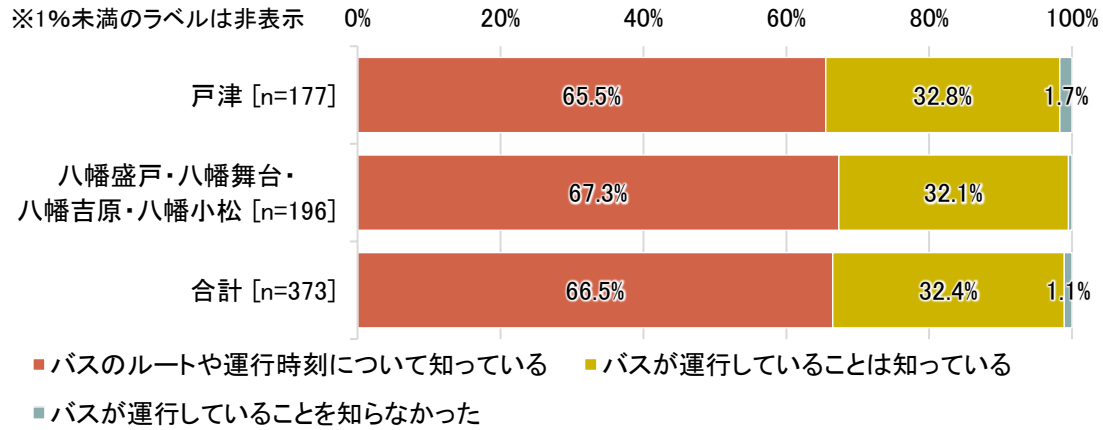


図 八幡志水線の認知度

バスの運行を知っているものの、ダイヤやルートまでは知らないという人は、30～49歳を除き高齢層ほど割合が高まる。

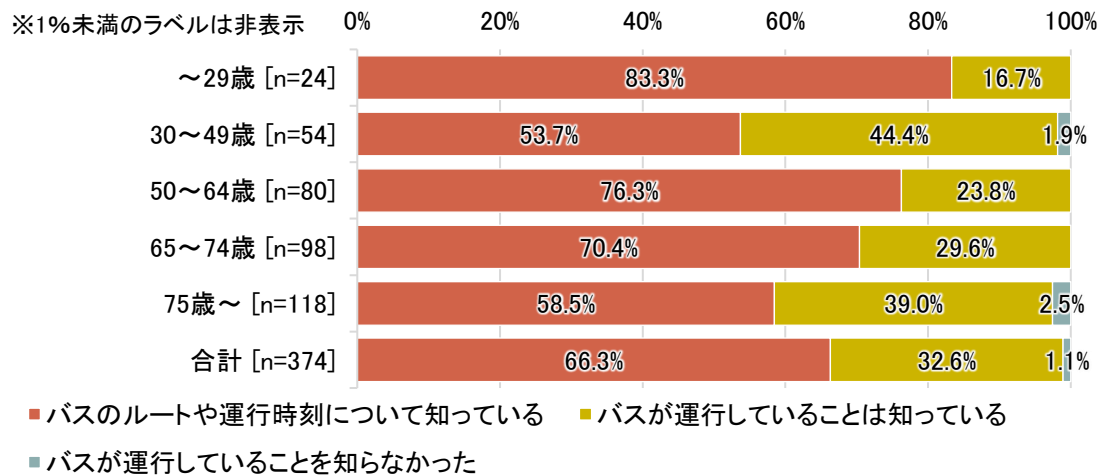


図 年齢階層別 八幡志水線の認知度

② 八幡志水線の減便・廃止の認知度

令和7年(2025年)3月の路線廃止の認知度は、戸津では約8割である一方で、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では約4割と低い。

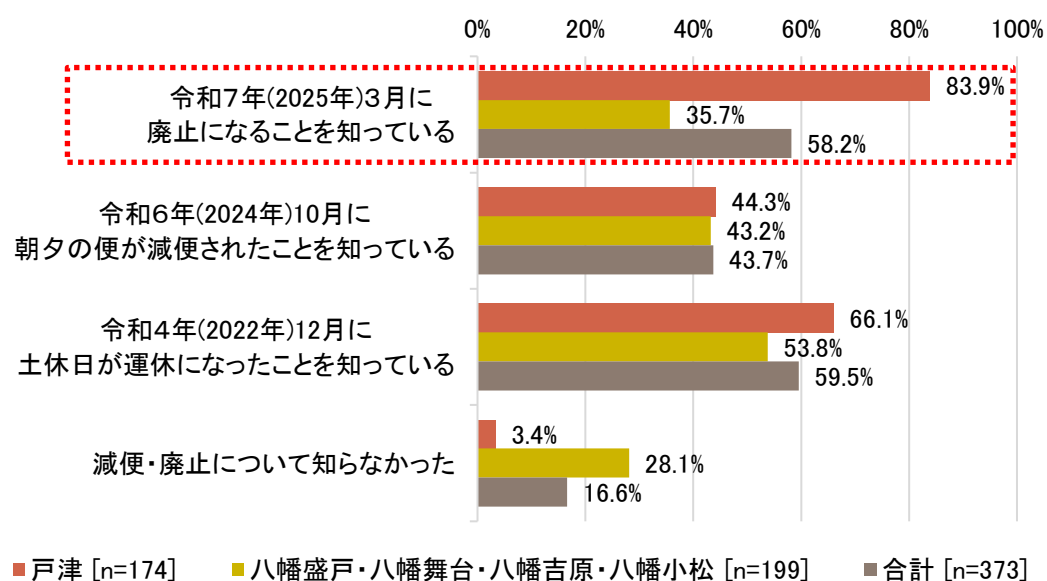


図 八幡志水線の減便・廃止の認知度

質問 4

①-1 八幡志水線の最近1年の利用頻度

八幡志水線の最近1年の利用頻度について週1日以上利用している割合をみると、戸津で約1割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約3割である。

一方、1年で全く利用したことがない人の割合は戸津で約4割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約3割である。

八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松は戸津と比較して利用頻度が高いと言える。

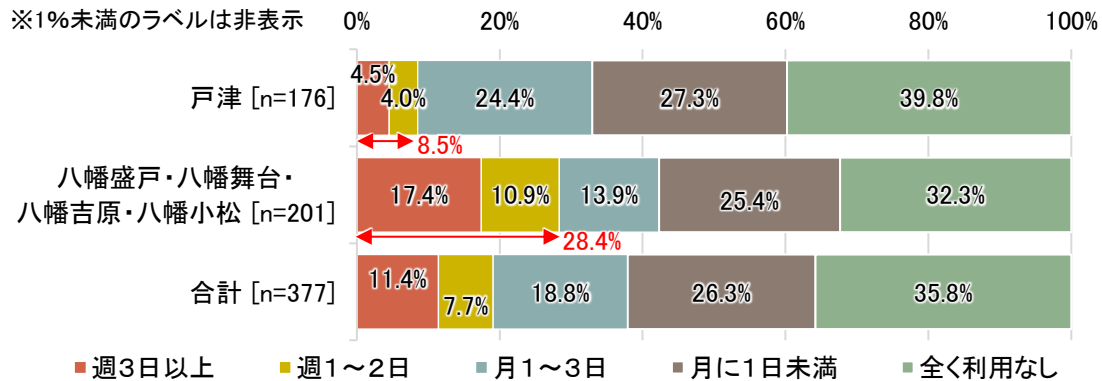


図 八幡志水線の最近1年の利用頻度

①-2 年齢階層別 八幡志水線の最近1年の利用頻度

年齢階層別にみると、29歳以下では週1日以上利用している割合が約5割を占めており、若年層ほど日常的に利用している割合が高い傾向にある。

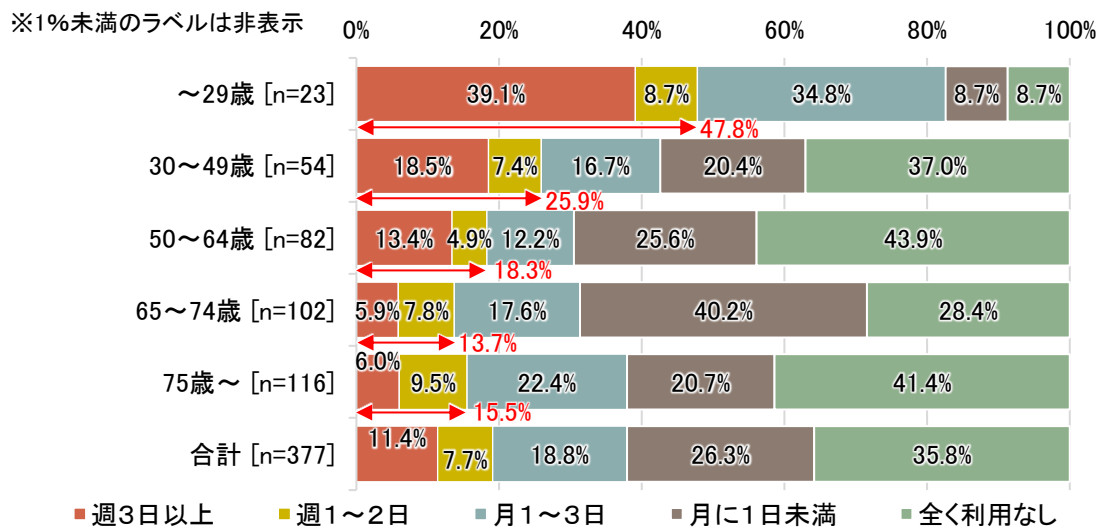


図 年齢階層別 八幡志水線の最近1年の利用頻度

② 八幡志水線の最後の利用時期

八幡志水線を最近1年に「全く利用なし」と回答した人の最後の利用時期をみると、「一度も利用したことがない」と回答した割合は戸津で約2割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約4割を占めている。

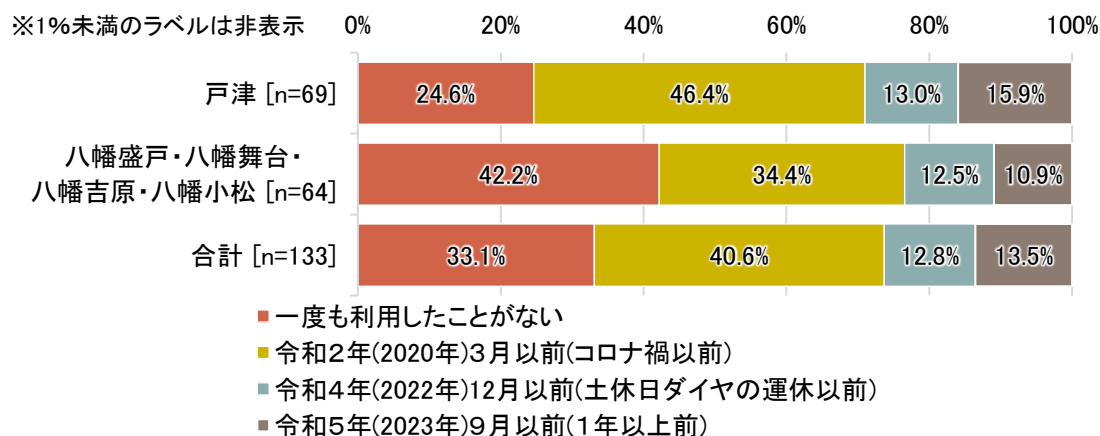


図 八幡志水線の最後の利用時期

質問5

①-1 八幡志水線廃止の生活への影響

八幡志水線の廃止に伴い「地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない(外出頻度は減少する)」「自力で外出できなくなる」と回答した割合は、両地域合計で約2割である。

また、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では「他のバス停まで歩いて移動する」が約4割を占める。

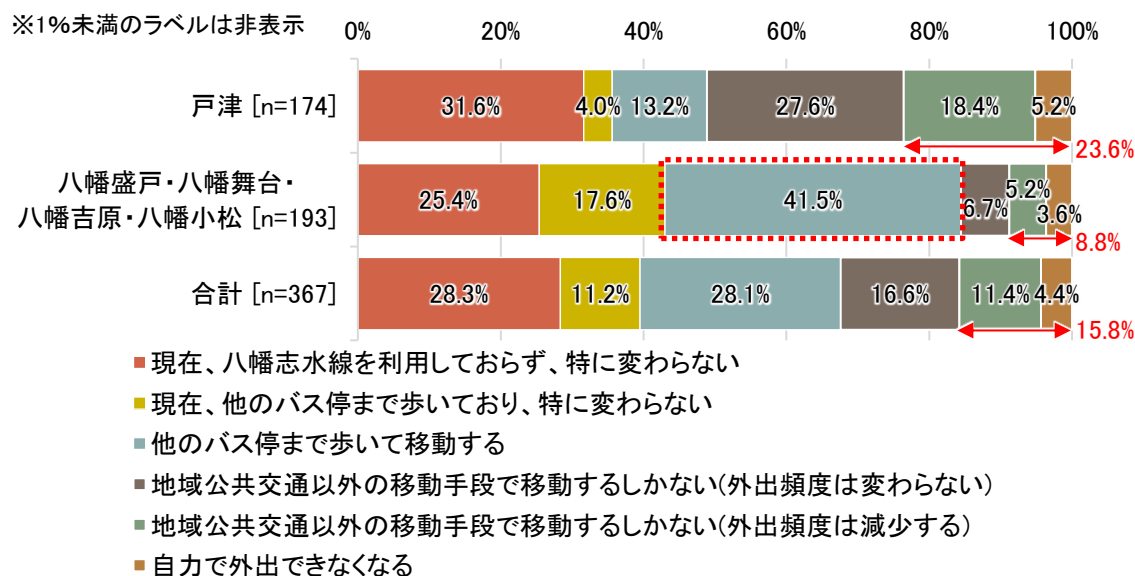


図 八幡志水線廃止の生活への影響

①-2 年齢階層別 八幡志水線廃止の生活への影響

年齢階層別にみると、「地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は減少する）」「自力で外出できなくなる」と回答した人は75歳以上の高齢者に多い。

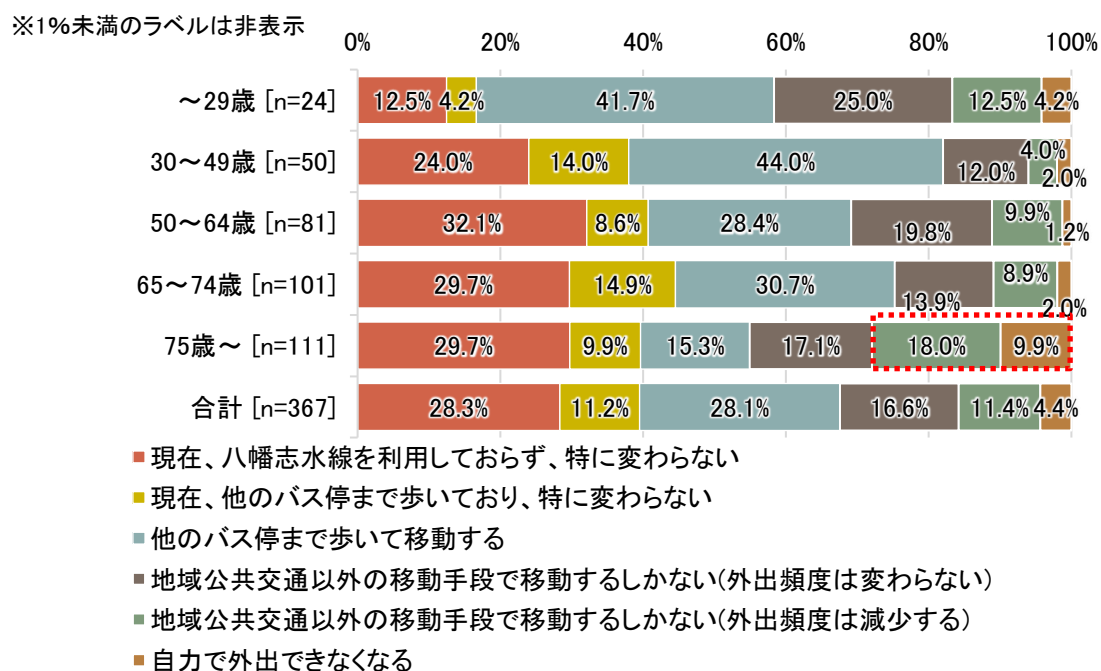


図 年齢階層別 八幡志水線廃止の生活への影響度

②-1 現在、八幡志水線の代わりに使用しているバス停

現在、八幡志水線の代わりに利用しているバス停は、両地域ともに「広門」が最も多い。「広門」以外の停留所としては、戸津では「蜻蛉尻」、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では「おさ田」と「久保田」との回答がみられる。

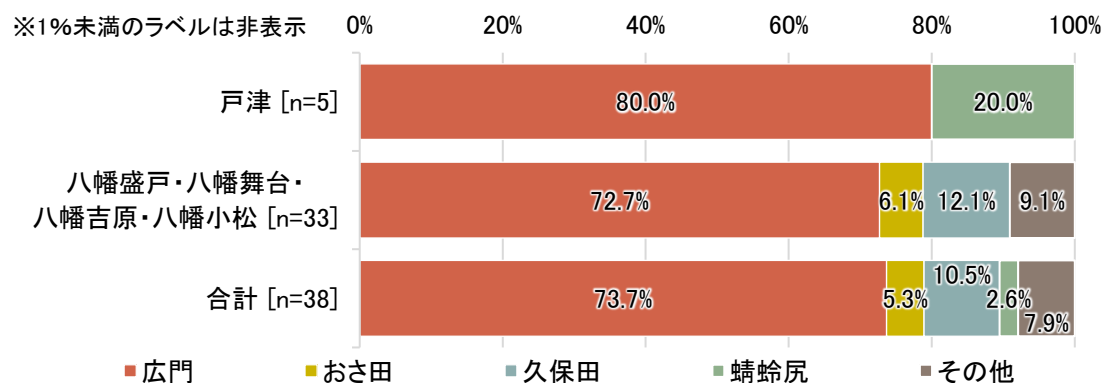


図 現在、八幡志水線の代わりに使用しているバス停

②-2 八幡志水線廃止後、代わりに利用するバス停

八幡志水線廃止後、代わりに利用するバス停は、現在、八幡志水線の代わりに利用しているバス停と同様に両地域ともに「広門」が最も多いほか、戸津では「蜻蛉尻」、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では「おさ田」と「久保田」との回答がみられる。

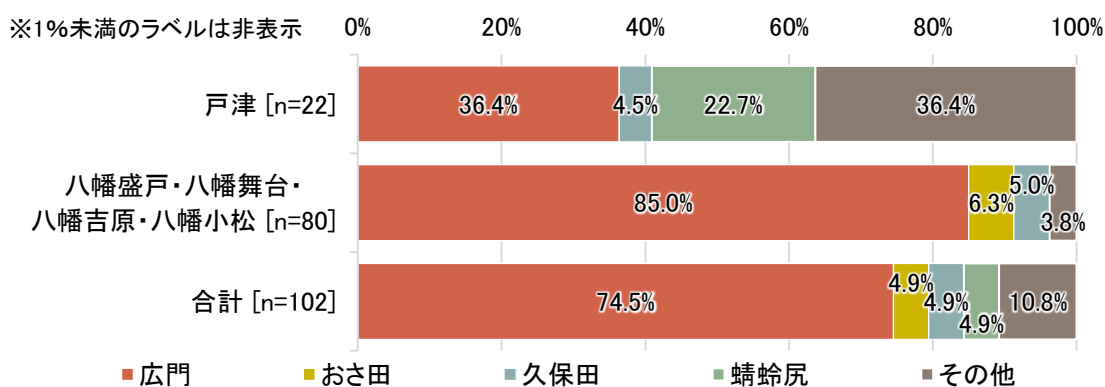


図 八幡志水線廃止後、代わりに利用するバス停

③ 八幡志水線の代わりに利用する移動手段

八幡志水線の代わりに利用する移動手段は、戸津では自家用車が約5割、次いで自転車が約3割を占める。一方で八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では自転車が約5割、次いで自家用車が約3割を占める。

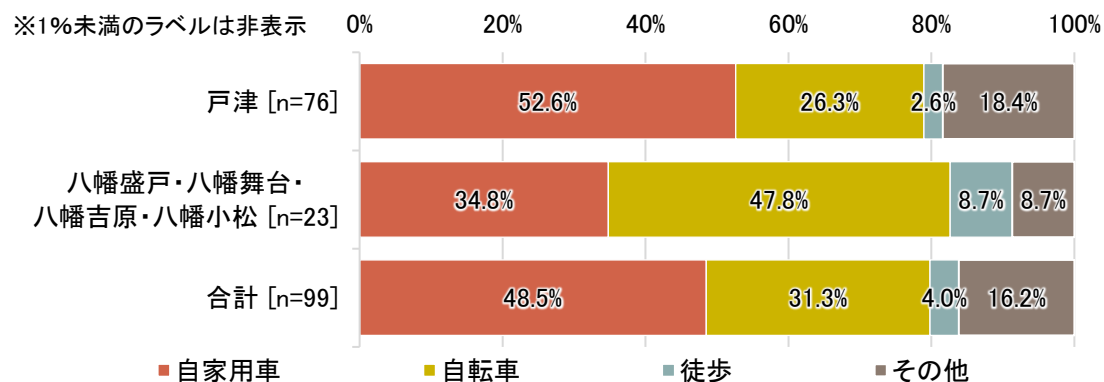


図 八幡志水線の代わりに利用する移動手段

質問6

①-1 代替交通の導入要否

「代替交通を導入すべき」との意見は、戸津で約9割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約8割を占めており、沿線住民の代替交通へのニーズは大きい。

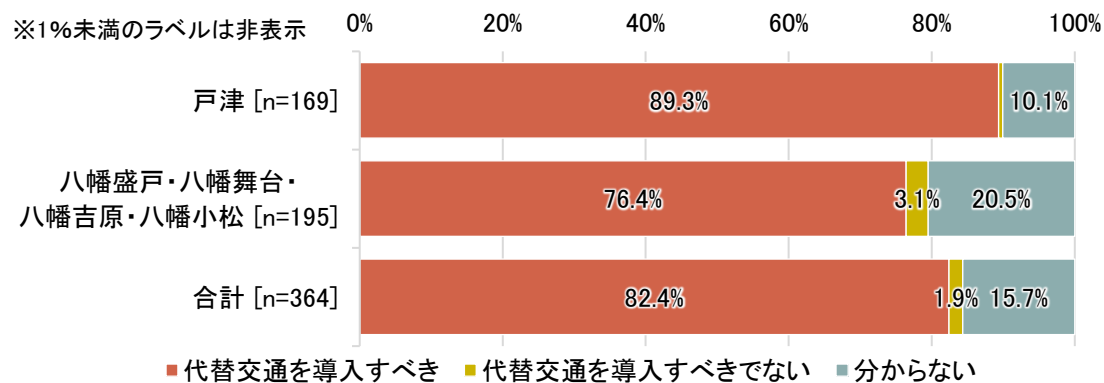


図 代替交通の導入要否

①-2 年齢階層別 代替交通の導入要否

「代替交通を導入すべき」との意見は、いずれの年齢階層でも約8～9割を占めており、年齢階層による大きな傾向の変化はみられない。

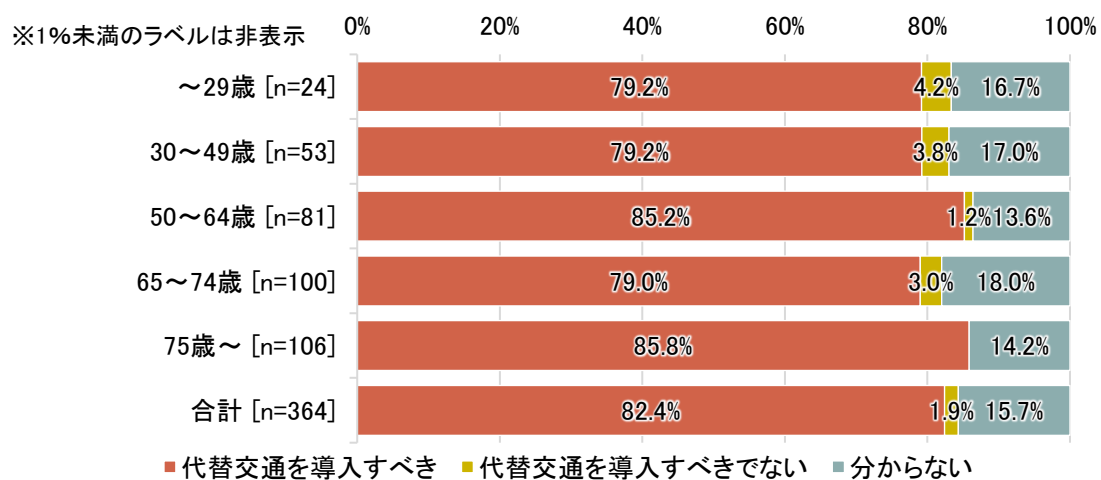


図 年齢階層別 代替交通の導入要否

質問 7

①-1 今後の八幡市の地域公共交通のあり方

今後の八幡市の地域公共交通のあり方については、両地域ともに「行政がコミュニティバス等を運行し、地域公共交通を支えていくべき」との意見が最も多い。

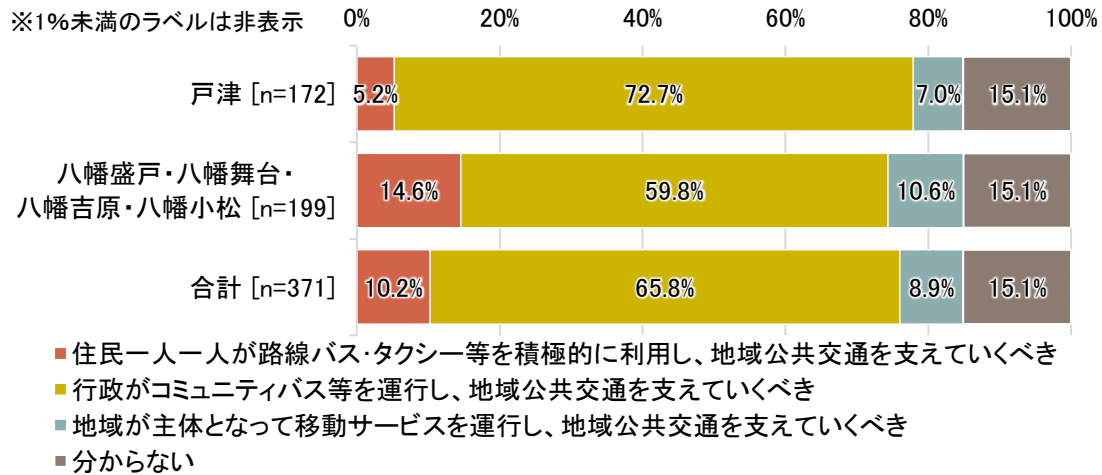


図 今後の八幡市の地域公共交通のあり方

①-2 年齢階層別 今後の八幡市の地域公共交通のあり方

年齢階層別にみると、若年層ほど「住民一人一人が路線バス・タクシー等を積極的に利用し、地域公共交通を支えていくべき」の割合が高くなっている。

また、全ての年齢階層に渡って「地域が主体となって移動サービスを運行し、地域公共交通を支えていくべき」との回答があり、全体で約1割を占めている。

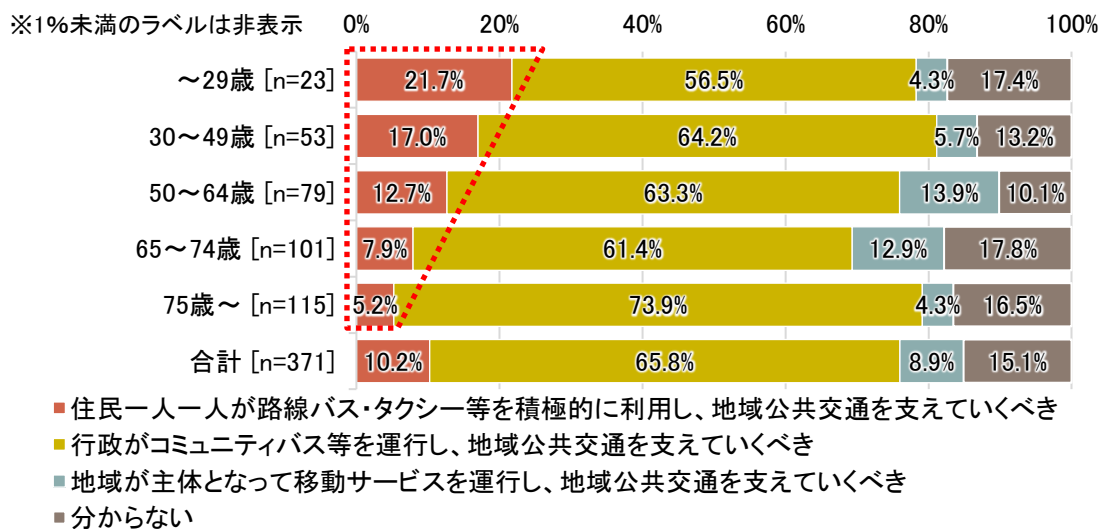


図 年齢階層別 今後の八幡市の地域公共交通のあり方

質問8 地域公共交通維持のための協力意向

地域公共交通維持のための協力意向は、両地域とも傾向は変わらず、「積極的に地域公共交通を利用する」「地域公共交通に関心を持つ（利用状況や収支状況など）」の割合が高い。

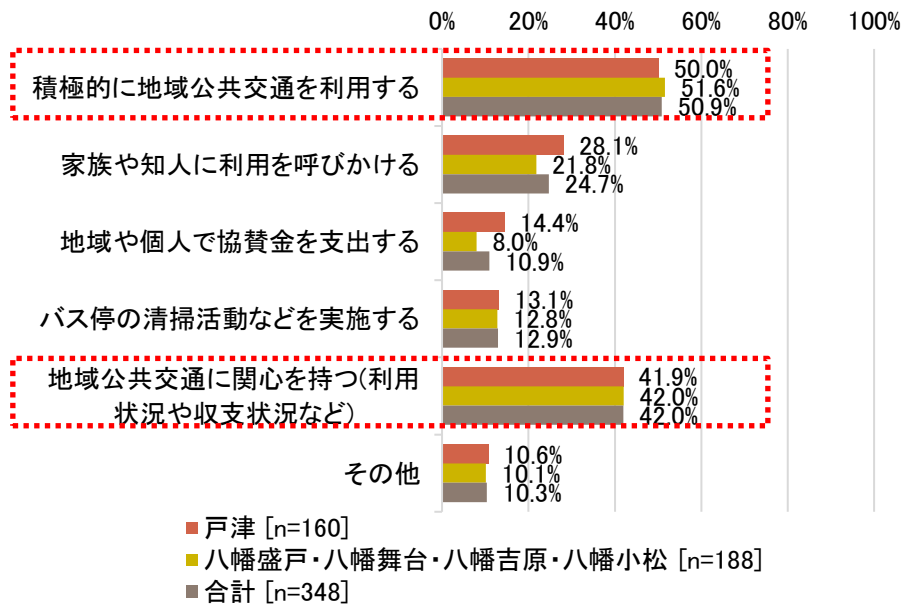


図 地域公共交通維持のための協力意向